



温故創新

岐阜市立岐阜中央中学校 令和6年11月29日(金) No.8

学校の教育目標「手を結び 学び合い・鍛え合う」



災害時に地域のために行動する中学生に

11月15日(金)、1・2年生は、5・6時間目に、防災学習を行いました。岐阜市の生涯学習「長良川大学」の講座のひとつである出前講座として実施しました。岐阜市都市防災部都市防災政策課のみなさんを講師としてお招きし、コミュニティスクール支援推進委員会家庭教育部のみなさんにサポートしていただきながら、「身近な地域で大規模な災害が発生し、岐阜中央中学校が避難所となった場合、中学生として、地域のために行動できるようにするために、①避難所等の実態について知る(→講話)とともに、②避難所等でとるべき行動の一部をシミュレーションする(→簡易テント設営)」ことをねらいとして学習しました。学習後、2年生は、『ひなんルーム』の準備の仕方や、何をすべきか、安全な場所はどこかを学べてよかったです。この知識があれば、災害が発生した時に、困っている人を助けることができると思います。災害が発生した時にはいつでも準備ができ、何をすべきかがわかりました。」や「小学校で同じ「ひなんルーム」を作ったことがあるので、スムーズに設営できました。経験が今回につながったと思います。このように訓練しておくことで、実際に、災害が起きた時に、すぐ対応できるんだなと思いました。」といった感想をもち、学習をまとめました。



11月5日(火)～7日(木) 岐阜中央中学校区内「小中合同あいさつ運動」

11月5日(火)、6日(水)、7日(木)の三日間にわたって、岐阜中央中学校区内「小中合同あいさつ運動」を行いました。「小中合同あいさつ運動」は、コミュニティスクール支援推進委員会地域行事部の活動として、PTA等の協力を得て、岐阜中央中学校だけではなく、岐阜小学校、明郷小学校でも行われるものです。中学生は、のべ約170人が参加しました。

ご参加いただいた地域の皆様、ありがとうございました。

